

令和7年度

要望活動・PR活動



一般社団法人 三重県社会基盤整備協会

要望活動

(一社)三重県社会基盤整備協会では、令和7年8月8日に知事及び三重県議会議長に対して要望活動を実施しました。

8月26日に県議会新政みえ、10月1日に自由民主党三重県支部連合会に対して要望を実施しました。

10月8日に国土交通省・財務省及び三重県選出国会議員に対して要望活動を実施しました。

(一社) 三重県社会基盤整備協会 要望書

令和7年7月28日

国土交通省近畿地方整備局
齋藤博之様

一般社団法人 三重県社会基盤整備協会
会長 河上 敏二

令和8年度 国の政策・予算に關しての要望

昨年を能登半島地震や自然災害により多くの無い人命が奪われ、社会インフラを含め甚大な被害が日本各地で発生しました。特に能登半島地震においては、震災時のクセスルーの確保や上下水道施設の強靭化の重要性など様々な課題が浮き彫りになり、災害に強い震難な国土づくりを進めることが重要性を再認識させられました。本県も半島地形を有し、甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震においては、30年以内の発生確率が90%程度に引き上げられ、また、昨年8月には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されるなど、いつ起こるかわからない状況況で来ております。切迫する地震や震災化・頻発化する台風・集中豪雨に対して、能登半島地震の教訓をもとに、国土強靭化実施中期計画に基づき、待ったなしの状況にある国土強靭化を切れ目なく推進していくことが強く求められています。

「住民の安全・安心な暮らしを確保するための施策に留まらないよう(づらい)」、「個性あふれる地方創生に向けた地域の活性化と豊かな暮らしの実現」、「生産性向上による成長力や産業競争力の強化」を図るために必要な道路、河川、防災、港湾、海岸、まちづくり、上下水道等の社会基盤は、整備を要する事業がまだ多く残っています。これらの事業推進が緊要の課題となっています。

また、建設から五十年以上が経過するなど、老朽化した施設への対応も計画的・継続的に取り組んでいく必要がありますが、地方は財政、人員、技術等の面で課題を有しています。

このように、本県の社会基盤はまだ十分ではありませんが、地方創生及び国土強靭化が確実に推進され、社会基盤整備がより一層促進するよう令和8年度予算の確保に向けて、資材価格の高騰や賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額の満額確保について、以下の事項は特段の御要望を要します。

記

一、策定された「第1次国土強靭化実施中期計画」に基づき、今後の資材価格等の高騰等の影響を適切に反映し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保すること

一、持続可能な維持管理を実現するため、老朽化対策に必要な予算を確保すること

また、老朽化した施設の点検・診断・補修に対する市町支接体制の構築を図ること

一、気候変動により、今後、ますます懸念される豪雨の激甚化・頻発化、海面の上昇や台風の巨大化等に備え、流域治水対策の強化・深化を図るとともに、河川整備事業やダム建設事業等に対して必要な予算を確保すること

また、切迫する南海トラフ巨大地震に備え、河川管理施設等の機能が持続的に發揮できるよう補修・更新等の計画に進めるために必要な予算を確保すること

一、地方創生2.0により日本全体の経済の活力を取り戻していくため、国内投資の拡大や生産性向上につながる高規格道路の整備など、幹線道路ネットワークの機能強化を図ること

また、道路の安全・安心の確保に向け、予算や体制面の支援を充実させ、橋梁・トンネル・舗装等の老朽化対策や電気・電線化、交通安全対策を推進すること

一、頻発する土砂災害に対して、災害に強い県土づくりのための流域治水「砂防」の推進を図るとともに、地域の防災力の向上を図るため、土砂災害警戒区域等の抽出や土砂災害警戒情報の精度向上に取り組み、ハーフド・ワールド一体となれた効率的・計画的な対策を推進するためには必要な予算を確保すること

また、堆積した土砂の除去による、施設効果が最大限に発揮される取組を進めるごと

一、港湾施設、海岸保全施設において、物流の効率化や産業競争力の強化、サブリゲッシュの強化を図るとともに、海岸保全施設の整備や、水門・陸閘等の自動化・連携操作化など、防災・減災対策の推進に必要な予算を確保すること

また、能登半島地震でも確認された海上輸送の重要性を踏まえ、老朽化対策や地震対策を進めること

一、コンバーチブル・ワールドの深化・発展のため、都市の特徴などを公共交通網ワールドの確保や、「居心地が良い歩きたくなる」まちなかの創出に向けた取組、安全に安心して暮らせる社会の実現のため街路整備を計画的かつ着実に実施するためには必要な予算を確保すること

一、上下水道事業においては、住民の安全と衛生を守るインフラとして、未普及地域の早期解消、老朽化する施設の適切な管理と改修更新が求められており、機能の維持・強化、更なる深化を図るために必要な予算を確保すること

また、能登半島地震を踏まえ、上下水道施設の強化を図るために、上下水道の耐震対策を一体的に取り組むこと

一、大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組み、自治体に対する支援体制の強化を図ること

一般社団法人 三重県社会基盤整備協会
会長(三重県国道協会会長) 熊野市長 河上 敏二
副会長(三重県道路協会会長) 津市長 前葉 泰幸
副会長(三重県市町道整備促進期成同盟会会長) 紀北町長 尾上 寿一
理事(三重県河川防災協会会長) 鈴鹿市長 松木 则子
理事(三重県治水砂防協会会長) いなべ市長 日沖 埼
理事(三重県港湾海岸協会会長) 四日市市長 森 智広
理事(三重県都市計画協会会長) 亀山市長 櫻井 義之
理事(三重県上下水道協会会長) 松阪市長 竹上 真人

三重県国道協会 提言書（夏季要望）

三重県国道協会提言書 -安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワーク整備の推進-

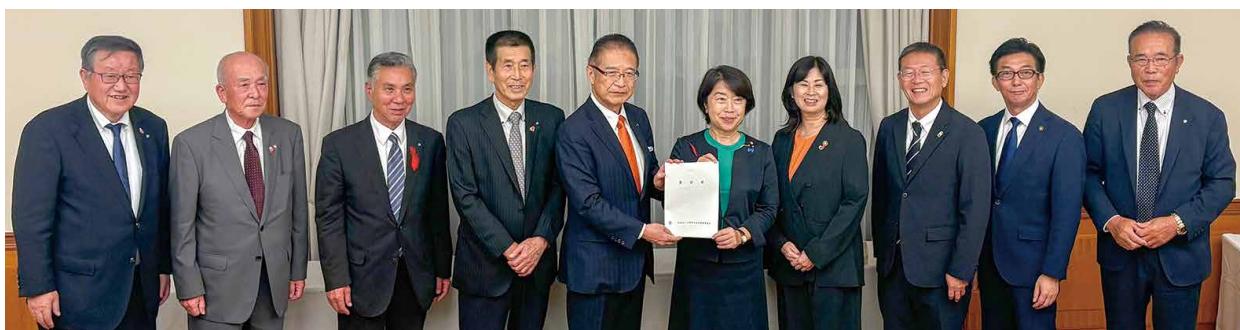


国会議員要望：10月8日

河上会長：要望要旨

令和8年度の国の政策・予算に関する要望における主要項目としまして、令和7年度に策定された「第1次国土強靭化実施中期計画」に基づいて、地方の強靭な国土づくりを強力かつ早急に進めるため、地方創生、国土強靭化がペースを緩めることなく計画的に事業推進を図っていくよう、必要な予算について資材高騰等に配慮し、令和8年度予算の所要額を満額確保していただくよう強く要望します。

【国会議員】



【川崎衆議院議員】

補正予算につきましては、なるべく早くやりたいと考えています。三重県の課題につきましては共有しているところでありますので、しっかりと取り組んでまいります。今まで以上に予算の確保に取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援のほど、よろしくお願ひいたします。



【鈴木衆議院議員】

石川県では、土砂撤去の所管を一体化して効率化を図るなど、災害を機に制度変更に取り組まれている。予算の確保も大事であるが、制度を変えることにより、より効率的にものが進んだり、スピードアップが図られるようなお知恵を現場からいただいて、よりよい制度づくりにも取り組んでまいりたいと考えています。

【中川衆議院議員】

国土強靭化中期実施計画が示されました。予算を確保できても事業量が減らないようにしっかりと想っていきたいと思っています。直轄道路も大事ですが、山間部の生活道路も大事です。広く皆様のご要望に応えることが我々の役割・使命でありますので、どういう形になってもしっかりと仕事をさせていただきます。



【山本参議院議員】

国土強靭化予算として20兆円が示されました。この大型予算をしっかりと確保して、各市町の社会基盤整備を進めていくことが大事であります。皆様のやりやすいものとなるよう、引き続き、頑張ってまいりますので、よろしくお願ひします。

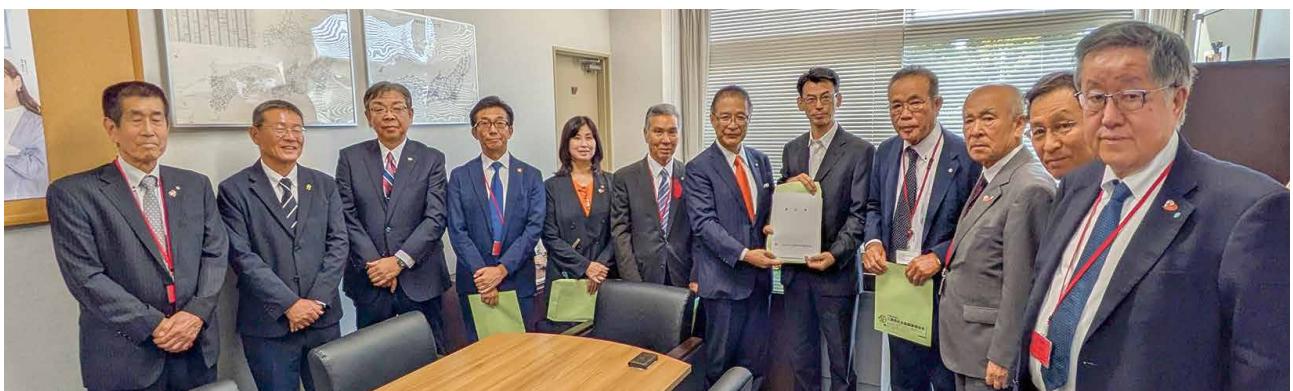
国土交通省要望：10月8日

国土強靭化の推進に向け、第1次国土強靭化実施中期計画に基づき、計画的かつ継続的に事業が進むよう、資材価格等の高騰も見据えた必要予算の満額要求を行った。

【廣瀬技監】



【石和田道路局次長】



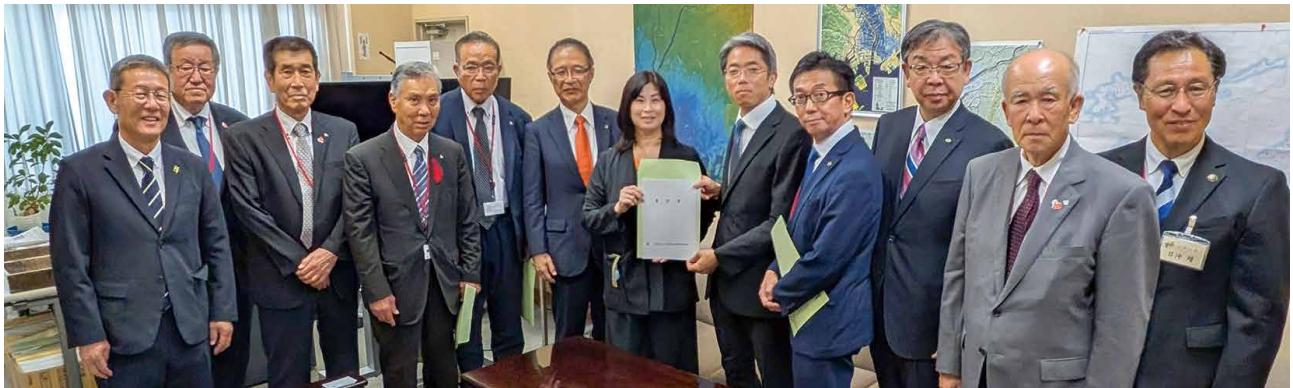
【中田都市局長】



【安部港湾局長】



【中井水管理・国土保全局次長】



【國友砂防部長】



【石井上下水道審議官】



三重県知事要望：8月8日



【一見三重県知事コメント】

本日頂いた要望の内容については、私も職員も十分に分かっております。県単予算につきましても十分ではありませんが、区画線におきましては警察と連携をして進めているところです。防災につきましては、特に県民の命が関わってきますので、しっかりと進めさせていただきます。皆さんと心を一つにして、予算の確保に努めてまいりますのでご支援をよろしく願います。

三重県議会議長要望：8月8日

【服部県議会議長コメント】

議会といたしましても、いただいた要望につきましては精査させていただき、国土強靭化、地方創2.0が進むようしっかりと国・県に対して要望をしております。



【森野県議会副議長コメント】

各種議長会議においても社会基盤整備の重要性は取り上げられており、国に対してしっかりと要望していくこととしています。皆様におかれましても、それぞれのチャンネルでご協力いただきますようお願いします。

啓発活動



8月10日「道の日」～道路施策を紹介するパネル展に協賛～

- 啓発内容：道路の意義・重要性に関心をもっていただくため、三重県が取組を進めている道路施策や、県内で整備が進む幹線道路の状況道路の開通によりもたらされる効果を紹介。
高速道路のアクセス性の向上や開通を見越した整備によるストック効果のPR
- 日 時：令和7年8月4日～8月15日（土日祝日除く）
- 場 所：三重県庁 1F県民ホール





東京メトロ丸ノ内線 霞が関駅構内に啓発ポスターを掲示

- 啓発内容：三重県における社会基盤整備促進の必要性
- 期間：令和7年10月1日～10月21日
- 広告媒体：東京メトロ丸ノ内線 霞が関駅構内 ポスター掲示



社会基盤整備が「三重の安全・安心で活力あるまち割り」を支えています

国土強靭化対策が三重の「安全・安心」を支えます!!

①四日市港霞ヶ浦地区
国際物流ターミナル整備事業
事業中



②南松地区海岸高堤対策事業
事業中



③川上2地区急傾斜地崩壊対策事業
事業中



④雨季谷道常砂防事業
令和7年3月完成



美しい国(まことに)三重の観光

一生に一度は、来て、見て、みえへ!

風光明媚
ブリメ
国宝指定
アトラクション



お問い合わせ 一般社団法人 三重県社会基盤整備協会
三重県津市安町1丁目891 電話: 059-271-8671

道路整備が三重の「観光」「産業」「ぐらし」を支えます!!

⑤東海環状自動車道
令和7年3月26日
(いなべIC～大安IC)



⑥国道167号岐阜バイパス
令和7年3月16日
(市道日本八幡線～国道477号バイパス)



⑦国道2号中勢バイパス
令和7年3月16日
(北里石ノ森IC～津市)



⑧国道42号新宮紀宝道路
令和6年12月7日
(紀宝IC～新宮北IC)



⑨1路線】外宮度会橋線(無電柱化)
令和6年7月完成





『2025 三重砂防だより』を作成・配布

- 啓発内容：総会開催状況、現場研修、防災訓練
学習会開催状況
三重県土砂災害情報システム
土砂災害防止に関する絵画・作文優秀作品表彰
事業完成箇所紹介
- 配付部数：2,200部
- 配布対象：市町、県建設事務所、各都道府県
三重砂防ボランティア協会
(公社) 砂防学会研究発表会

三重 2025 砂防だより



CONTENTS

- ご挨拶 1
- （一社）三重県社会基盤整備協会 令和7年度 第11回定期総会 2
- （一社）三重県社会基盤整備協会 令和7年度 第1回定期総会 3
- （一社）三重県社会基盤整備協会 訪問活動 3
- 令和6年度 東海環状自動車道会員企業 4
- 令和6年度 東海環状自動車道会員企業 5
- （一社）三重県社会基盤整備協会 市町郷土見聞録 6
- 土砂災害の発生状況、防災訓練、防災訓練への情報発信、土砂災害防災訓練 7
- 防災訓練 8
- 土砂災害防止に関する会報 9
- （土砂災害防止に関する会報）優秀作品 9
- 三重県土砂災害情報提供システム 11
- 土砂災害防止に関する会報 12
- 令和7年度 地盤調査実施報告 13
- 令和6年度 脱砂斜面崩壊対策事業 実成箇所の紹介 15
- 今後の予定（令和7年度～8年度上半期） 15

一般社団法人 三重県社会基盤整備協会

要望活動 面談者・参加者（敬称略：面談順）

10月8日

国土交通省・財務省

安部 賢 港湾局長
石井 裕人 上下水道審議官
國友 優 砂防部長
石和田 二郎 道路局次長
中井 淳一 水管理・国土保全局次長
中田 裕人 都市局長
廣瀬 昌由 技監

（一社）三重県社会基盤整備協会

副会長 津市長
理事 鈴鹿市長
理事 いなべ市長
理事 亀山市長
理事 松阪市長
理事 桑名市長
理事 川越町長
理事 多気町長
理事 大台町長
理事 御浜町長
理事 伊勢市副市長
前葉松沖櫻竹伊城田保久森大畠福井
泰則義眞徳政行正敏人
幸子靖之人宇幸央信覚人
二幸一子靖広之人宇幸央信健一

8月8日

三重県

一見 勝之 三重県知事
藤井 和久 県土整備部長

（一社）三重県社会基盤整備協会

会長 熊野市長
副会長 津市長
副会長 紀北町長
理事 鈴鹿市長
理事 いなべ市長
理事 四日市市長
理事 亀山市長
理事 松阪市長
理事 桑名市長
理事 川越町長
理事 多気町長
理事 大台町長
理事 伊勢市長
河上葉上松沖森櫻竹伊城田保久森大鈴木
前尾末日大幸泰壽則智義眞徳政行正健一
幸一子靖広之人宇幸央信健一

三重県議会

服部 富男 三重県議会議長
森野 真治 三重県議会副議長



一般社団法人 三重県社会基盤整備協会

本会は、三重県内全ての29市町で構成し、社会基盤整備の促進に資することにより、住民福祉の向上に寄与することを目的として、次の事業を行っております。

- (1) 道路整備事業、河川整備事業、災害復旧事業、砂防事業、港湾・海岸整備事業、都市計画事業、街路整備事業及び上下水道事業の促進
- (2) 社会基盤整備事業に関する調査研究
- (3) 社会基盤整備事業に関する関係機関への要望活動ならびに意見の具申
- (4) 社会基盤整備事業に関する普及啓発
- (5) 社会基盤整備事業に関する各種団体との連絡調整
- (6) その他、本会の目的達成に必要な事業